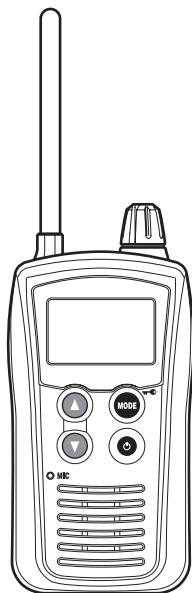


取扱説明書

特定小電力トランシーバー

品番 SLT001



NI-MH

ニッケル水素電池の
リサイクルにご協力ください。

このたびはユニデントランシーバーをお買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は大切に保管してください。

もくじ

はじめに	3	操作モード設定	26
安全上のご注意	3	ビジーアンサー	26
使用上のご注意	9	オートパワーオフ	26
電波法に関するご注意	9	バッテリーセーブ	27
自動車など車両運転時のご注意	9	スケルチレベル	27
防水性能について	9	モニター設定	27
		ディスプレイの非表示（表示設定）	28
		パワーオフ禁止	28
		LCD バックライト	28
		キートン	29
		テールノイズカット	29
		オートチャンネルスキャン	29
		送信ホールド	31
		送信ホールド自動復帰	31
		受信専用	31
		コールトーン	32
		VOX	32
		VOX 感度	32
		VOX 遅延時間	33
		チャンネル表示	33
		設定を初期化する	33
ご使用前の準備	10		
本機の特長	10		
本体と付属品	11		
各部のなまえ	12		
準備する	15		
バッテリーを取り付ける	15		
充電する	16		
アンテナを立てる	18		
ベルトクリップを取り付ける	19		
イヤホンマイク（別売品）を			
取り付ける	19		
チャンネル表示など各モードを			
設定する	19		
基本操作のしかた	20	ご参考	34
チャンネルおよびチャンネル表示		お手入れについて	34
について	20	バッテリー交換について	35
基本的な使いかた	21	故障かなと思ったら	36
通話をする	21	おもな仕様	38
キーロックのしかた	22	別売品について	39
		クイックガイド	41
		メニュー一覧表	42
グループ設定のしかた	23		
グループ番号を設定する	23		
各種機能の設定	24		
設定メニューモードに入る	24		
メニュー一覧表	25		

はじめに

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。



注意

けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれがある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号			行為を指示する記号	
一般的注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	一般的指示	電源プラグを抜く

■ 本体の取り扱いについて



使用温度範囲を超えた温度となる場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。

強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。

■ 安全上のご注意 (つづき)

■ 本体の取り扱いについて (つづき)



警告

引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください



引火や火災、爆発の原因になります。

製品を分解・改造したり、ご自分で修理したりしないでください



火災、感電などの事故、または故障の原因になります。

指定以外のバッテリーを使用しないでください



火災、感電、故障の原因になります。

針金などの導電物を差し込まないでください



感電や故障の原因になることがあります。

端子部に金属片やゴミが付着したまま使用しないでください



ショートして発火の原因になることがあります。

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください



けが、故障の原因になることがあります。

アンテナを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください



身体に当たってけがをしたり、製品の故障や破損の原因になります。

直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口付近など、温度変化の著しい場所に放置しないでください



ケースや部品が変形、変色したり、火災、故障の原因になることがあります。

水をかけたり、ぬらしたりしないでください



火災・感電・故障の原因となります。

浴室やシャワー室では使用しないでください



感電や故障などの原因となる場合があります。

近くに花瓶など水の入ったものを置かないでください



水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。

煙が出ている、変なおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください



そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

異常が認められた場合はすぐに電源を切り、お買い上げの販売店、または弊社お客様センターにご連絡ください。

■ 安全上のご注意 (つづき)

■ 本体の取り扱いについて (つづき)

注意

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の大きいところなど、不安定な場所に置かないでください

 落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

お手入れの際は、シンナーやベンジンなどを使用しないでください

 変質・変色の原因になることがあります。
お手入れは乾いたやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ拭いてください。

テレビやラジオ、またはインバーターを内蔵した電子機器の周辺では使用しないでください

 電波障害を受けたり、与えたりすることがあります。

アンテナを強く折り曲げたりしないでください

 変形や破損の原因になることがあります。

長期間ご使用にならないときは、必ずバッテリーを本体からはずしてください

 バッテリーが液漏れするなどして、故障の原因となります。

■ バッテリーの取り扱いについて

警告

単3形アルカリ乾電池を使用する場合、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください
また、必ず同じ種類の乾電池を使用してください

 発熱、発火、発煙や火災の原因になります

分解や改造をしないでください

 液漏れ、破裂、発熱、発火の原因になります。

火の中に投げたり、加熱したりしないでください

 バッテリー内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。

堅い床に落とすなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください

 外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があります。そのままの状態で使用すると、破裂、発火、発熱、発煙のおそれがあります。

■ 安全上のご注意 (つづき)

■ バッテリーの取り扱いについて (つづき)



直射日光の当たる場所、火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温となる場所で使用、充電したり、放置しないでください



液漏れ、破裂、発煙、発火や火災、やけどの原因になります。

使用中や充電中、または保管の際に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください



使用をつづけると、バッテリーの液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください



破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

指定の充電時間以上連続して充電しないでください



満充電後もそのまま充電し続けたり、すぐに再充電を繰り返すと過充電となり、バッテリーの液漏れ、破裂、発熱の原因になります。

指定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、ただちに充電を中止してください



そのまま充電を続けると破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

シール類を貼ったり、テープを巻きつけたりしないでください



発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

バッテリーの端子にハンダ付けをしたり、バッテリーの端子間を針金などの金属類で接続しないでください



感電やけがの原因になります。

金属製のネックレスなど導電性のあるものをバッテリーの上に放置したり、接触させないでください



破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

バッテリーを指定の機器以外に使用したり、指定以外の方法で充電しないでください



液漏れ、破裂、発火や火災、発熱や発煙、故障の原因になります。

バッテリー内部の液が目に入ったり、皮膚に付着したりしたときは、こすったり触ったりしないでください



失明、皮膚障害のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の診察を受けてください。

乳幼児の手が届かない場所で使用、保管してください



感電やけがの原因になります。

■ 安全上のご注意 (つづき)

■ バッテリーの取り扱いについて (つづき)



バッテリーがぬれた状態で本体や充電器に装着しないでください



本体や充電器の電源端子部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

長期間使用しないときは必ずバッテリーを本体から取りはずしてください



液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

バッテリーを満充電にした状態、あるいは完全に使い切った状態で長期間放置しないでください



液漏れ、破裂、発熱や、サビなどによる性能や寿命の低下の原因になることがあります。

長期間バッテリーを保管する場合は、満充電のあと、バッテリー残量が約半分になるまで使用し、本体から取りはずした状態で保管してください。

■ 充電器の取り扱いについて



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電のおそれがあります。

電源プラグを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください



故障や感電の原因になることがあります。

充電が終わったら、すぐに電源プラグを抜いてください



そのまま充電を続けるとバッテリーの破裂、発火や火災、発熱、発煙の原因になります。

水のかかるところや湿気、湯気、油気、ほこりの多い場所で充電しないでください



火災や感電のおそれがあります。

使用温度範囲外の環境で充電しないでください



特に寒い戸外や冷えた状態で充電しないでください。液漏れ、破裂、発熱、故障の原因になります。

乳幼児の手が届かない場所で使用してください



感電やけがの原因になります。

■ 安全上のご注意 (つづき)

■ 充電器の取り扱いについて (つづき)



警告

充電器を水に入れたり、ぬらしたりしないでください



充電器には防水性能はありません。サビなどによる性能や寿命の低下の原因となります。水にぬれたときは乾いた布等で水気を取り、十分乾燥させてからお使いください。

電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください



火災や感電のおそれがあります。

電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください



故障や感電の原因になることがあります。

充電器の充電端子部に金属類や指を差し込まないでください



故障や感電の原因になることがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常が発生したときは使用しないでください



火災や感電のおそれがあります。このような場合はすぐに電源プラグを抜き、弊社お客様センターにお問い合わせください。

ACアダプターは必ず家庭用コンセントで使用してください



故障の原因になることがあります。

■ 使用上のご注意

- 本製品を分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。絶対に行わないでください。
- お客様や第三者が誤った使用方法で本製品を使用したことによる故障や不具合、あるいはその使用によって生じた損害について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

電波法に関するご注意

- 本製品の使用は、日本国内のみに限られています。
- 他の無線機の通信を妨害したり、通信を傍受してその存在もしくは内容を漏らし、窃用すること（受信した内容を自分や他人の利益の為に利用すること）は電波法で禁じられています。

自動車など車両運転時のご注意

- 運転中は本機を操作しないでください。
運転中に操作をしたり、画面（表示部）を見たりすると運転不注意となり、交通事故の原因となります。
本機を操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- 安全のため、本機を身体に装着した状態で運転をしないでください。
- 別売のイヤホンマイクをご使用の場合は、イヤホン部を耳に装着したままで運転をしないでください。外部の音が聞こえず、安全運転の妨げとなります。（一部の都道府県では条例等により、運転中のイヤホン、ヘッドホン等の使用が規制されている場合があります。）

防水性能について

本製品は、JIS 保護等級 4（防沫形）相当の防水性能がありますが（バッテリーカバー、およびイヤホンマイク用端子のゴムキャップ装着時）、完全防水構造ではありません。屋外での使用の際、多少の雨に濡れても使用できますが、水につけるなどした場合は故障の原因になります。

ご使用前の準備

■ 本機の特長

本機は主に以下のような機能があります。

● ビジーアンサー

音声での応答ができないとき、相手にアラート音で知らせることができます。

(⇒ 26 ページ)

● グループ設定

仲間どうし（グループ）でグループ設定をしておくと、他の同一チャンネル上のグループとの混信を防ぐことができます。

(⇒ 23 ページ)

● チャンネル表示変更

本機のチャンネル表示方法を他社機種のチャンネル表示方法と合わせることができます。

(⇒ 33 ページ)

● 送信ホールド

PTT（送信）スイッチを押し続けなくても通話ができます。

(⇒ 31 ページ)

● キーロック

PTT（送信）スイッチ以外の全てのキー操作を無効にできます。

(⇒ 22 ページ)

● VOX

VOX 対応イヤホンマイク（別売品）をお使いいただくと、PTT（送信）スイッチを押さなくても、イヤホンマイクのマイクに向かって話すだけで通話ができます。

(⇒ 32 ページ)

● ディスプレイの非表示 （表示設定）

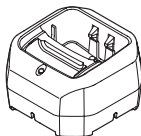
キーロック時にディスプレイ画面上のグループおよびチャンネル表示を非表示にすることができます。

(⇒ 28 ページ)

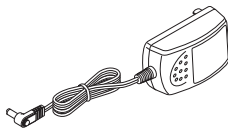
■ 本体と付属品



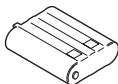
本体



充電器



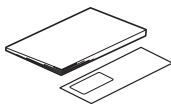
AC アダプター



バッテリー



ベルトクリップ



取扱説明書・保証書

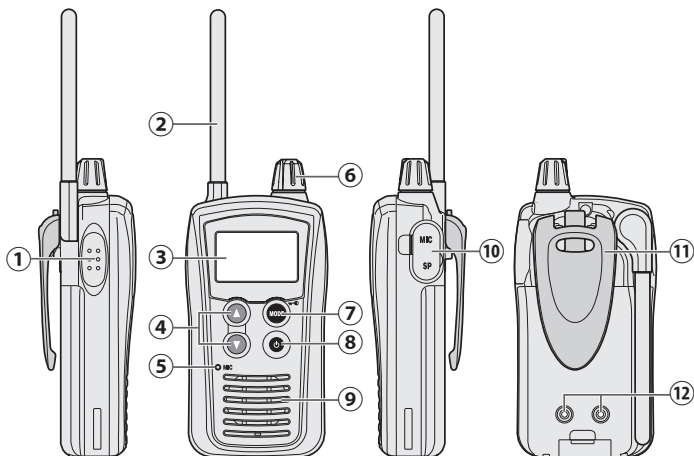
- ※ 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。
- ※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

最新の商品情報やサポート情報は弊社ホームページにてご覧いただけます。

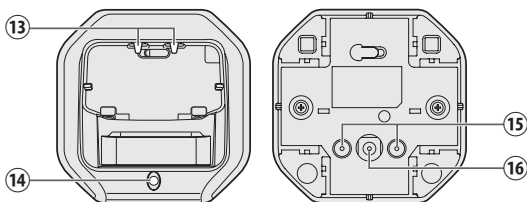
<http://www.uniden.jp/>

各部のなまえ

■本体



■充電器



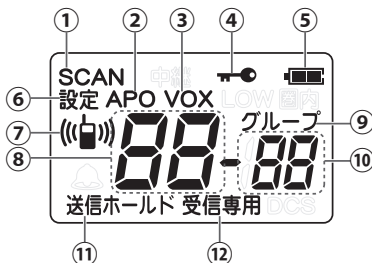
■ 各部のなまえ (つづき)

- ① **PTT (送信) スイッチ**
押している間は送信状態、PTT (送信) スイッチを離すと受信状態になります。
- ② **アンテナ**
送受信時に立てて使用します。
- ③ **液晶ディスプレイ**
- ④  /  (アップダウンキー)
チャンネルやグループを選択します。
- ⑤ **MIC (マイク)**
- ⑥ **音量調整ツマミ**
受信音量を調整します。
- ⑦ **モードキー**
各種設定用キーです。
- ⑧ **電源キー**
長押し (約2秒) で電源をオン/オフします。
- ⑨ **スピーカー**
- ⑩ **イヤホンマイク用端子**
別売品の VOX 対応イヤホンマイク接続用端子です。
- ⑪ **ベルトクリップ**
- ⑫ **バッテリー充電端子**
- ⑬ **バッテリー充電端子**
- ⑭ **充電ランプ**
- ⑮ **電源端子 (黒色)**
連結充電用 AC アダプター [別売品] (品番: AD-1186) 用
- ⑯ **電源端子 (黄色)**
付属 AC アダプター (品番: AD-1131) 用

各部のなまえ (つづき)

■液晶ディスプレイ

本機の状態を表示します。機能や設定方法は「各種機能の設定」(➡24 ページ〜)をご覧ください。



① SCAN (スキャン)

オートチャンネルスキャン中に点灯します。

② APO (オートパワーオフ)

オートパワーオフモードに設定すると点灯します。

③ VOX (自動送受信)

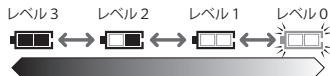
VOX モードを「オン」に設定し、別売の VOX 対応イヤホンマイクを VOX モードで装着すると点灯します。

④ キーロック

キーロック設定時に表示されます。

⑤ バッテリー残量

バッテリー残量を 4 段階で表示します。レベル 0 になると 1 分間隔で「ピピッ」と警告音が鳴ります。



⑥ 設定

設定メニュー操作時に点灯します。

⑦ 送受信表示

受信時は が点灯し、送信時は が点灯します。

⑧ チャンネル表示

使用チャンネル番号が表示されます。設定モード時は設定項目が表示されます。

⑨ グループ

グループが設定されているときに表示されます。

⑩ グループ番号表示

使用グループ番号が表示されます。設定モード時は設定値が表示されます。

⑪ 送信ホールド

設定がオンのときに表示されます。

⑫ 受信専用

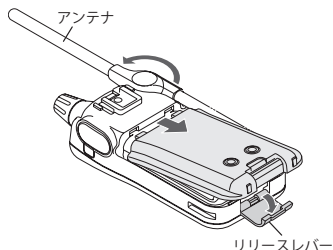
設定がオンのときに表示されます。

準備する

バッテリーを取り付ける

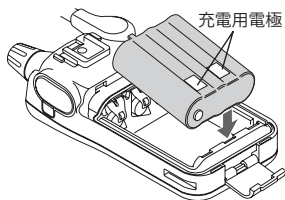
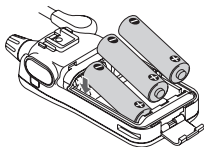
本機には専用の充電式バッテリーが付属されています。
また、市販の単3形アルカリ乾電池（3本）でもご使用になれます。

- 1 アンテナを矢印の方向に
起こしてからリリースレバー
をはずし、本体裏面の
バッテリーカバーをはずします。

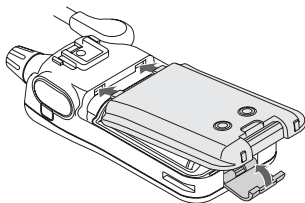


- 2 付属品の充電式バッテリーを
図のように入れます。

■ 単3形アルカリ乾電池を使用する場合
図のように電池を3本とも同じ向きで
入れます。



- 3 バッテリーカバーを閉め、
リリースレバーをカチッと
はめてロックします。



準備する (つづき)

充電する

付属の充電器を使用して、付属の充電式バッテリーを本体に入れた状態で充電します。満充電の目安は空状態からおよそ7～9時間で満充電となります。

- 付属のバッテリーを本体に装着したまま充電するときは、必ず本機の電源を切ってから充電してください。

注意

必ず本機に付属の充電器と AC アダプター (品番: AD-1131)、または別売品の連結充電用 AC アダプター (品番: AD-1186) をご使用ください



発火、発熱や故障の原因になります。

ご注意!

- ・ 充電ランプが点灯しているときは、通常充電を行います。満充電になると充電ランプは消灯します。充電器にのせている間は満充電になっても過充電防止機能により、安全にお使いいただくことができます。
- ・ 本製品の充電場所の温度は0℃～+40℃の範囲で行ってください。
- ・ 充電端子はいつもきれいにしてお使いください。

使用時間のめやす

付属バッテリーパック (品番: BT-863)	約 70 時間 (満充電の状態から使用した場合)
単3型アルカリ乾電池	約 90 時間 (メーカー・種類により異なります。)

- 条件: 送信 1 分、受信 1 分、待ち受け 8 分の時間比で動作させた場合

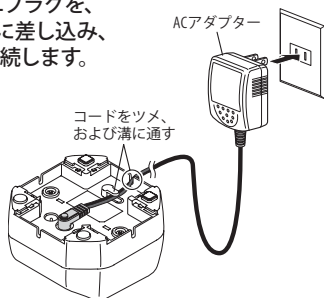
準備する (つづき)

- 1** 付属の充電器用 AC アダプターのミニプラグを、充電器底面にある電源端子 (黄色) に差し込み、AC プラグ側を家庭用コンセントに接続します。

- ▶ コードはツメ、および4ヶ所ある溝のうちいずれかに通してください。

ご注意！

- AC アダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください。他の AC アダプターは使用しないでください。

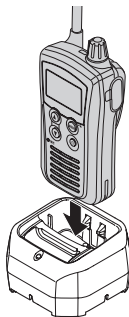


- 2** バッテリーを本体に取り付けた状態で、本機を前向きにして充電器にセットします。

充電器のランプが点灯します。

満充電になると…

充電器のランプが消灯します。



- 3** 充電が終了したら、コンセントから AC アダプターを抜きます。

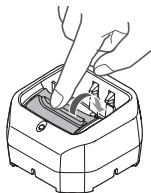
- 4** 充電器から本体を取りはずします。

準備する (つづき)

■ 充電式バッテリー単体で充電する場合

付属の充電式バッテリー単体で充電することもできます。

1 充電器の中にあるアタッチメントを起こします。

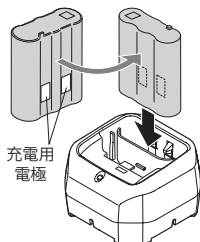


2 充電式バッテリーの充電用電極（2ヶ所）が充電器の充電端子に接する向きにして、充電器にセットします。

充電器のランプが点灯します。

満充電になると…

充電器のランプが消灯します。

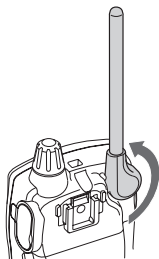


3 充電が終了したら、コンセントからACアダプターを抜きます。

4 充電器から充電式バッテリーを取りはずします。

アンテナを立てる

安定した送受信を行うため、ご使用の際は必ずアンテナを立ててお使いください。

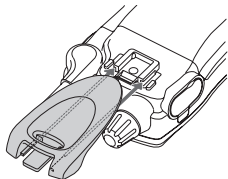


準備する (つづき)

ベルトクリップを取り付ける

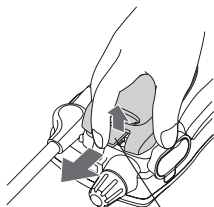
■取り付け

ベルトフック裏のガイドを本体背面のスリットに合わせ、完全にロックするまでスライドさせます。



■取りはずし

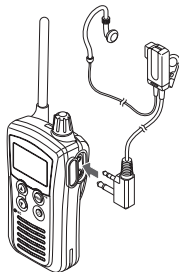
ベルトクリップ上部のロック解除レバーを手前に引きながら、ベルトクリップを本体上側へスライドさせてはずします。



ロック解除レバー

イヤホンマイク (別売品) を取り付ける

別売の VOX 対応イヤホンマイクをご使用になるには、本体右側面にあるカバーをめくり、コネクタ部を右図の向きで差し込みます。



チャンネル表示など各モードを設定する

必要に応じ、「操作モード設定」(⇒ 26 ページ～) で各種設定を行ってください。

基本操作のしかた

本機は、20 チャンネルの使用が可能です。

選択したチャンネルと同一チャンネル上にいる相手と通話が行えます。

■ チャンネルおよびチャンネル表示について

本機は液晶ディスプレイに表示されるチャンネル表示を、他社製機種種の表示方法に合わせて表示を変えることができます。（「チャンネル表示変更」（➡ 33 ページ））

通話可能チャンネル（周波数）と表示方式は次の通りです。

周波数 [MHz]	表示方式		
	A タイプ(※)	B タイプ	C タイプ
422.0500	1	1	01
422.0625	2	2	02
422.0750	3	3	03
422.0875	4	4	04
422.1000	5	5	05
422.1125	6	6	06
422.1250	7	7	07
422.1375	8	8	08
422.1500	9	9	09
422.1625	10	10	10
422.1750	11	11	11
422.2000	12	h1	1
422.2125	13	h2	2
422.2250	14	h3	3
422.2375	15	h4	4
422.2500	16	h5	5
422.2625	17	h6	6
422.2750	18	h7	7
422.2875	19	h8	8
422.3000	20	h9	9

※お買い上げ時の設定

基本的な使いかた

通話をする

1 電源を入れ、「通信モード」にします。

- キーを長押し(約2秒)すると電源が入り、チャンネルが表示されます。

お知らせ

- ・ 本機には「通信モード」と「設定メニューモード」の2つのモードがあります。

通信モード	3分の連続通話を行える状態(チャンネル設定やグループ設定も行えます) 通信モードには、3つの状態があります。 受信待受状態.....信号がない待機状態(送受信表示: 無点灯) 受信状態.....信号を受信している状態(送受信表示: 点灯) 送信状態.....送信している状態(送受信表示: 点灯)
設定メニューモード	各種設定を行うことのできる状態 (「設定メニューモードに入る」(→24ページ))

2 チャンネルを合わせます。

- ▲ / ▼ キーで通話相手と同じチャンネルに設定します。

グループ通話をするとき(→23ページ)

- MODE キーを押し、▲ / ▼ キーでグループ設定したい番号に合わせます。

3 音量を調整します。

- 音量ツマミを回し、適切な音量に調整します。
時計方向に回すと音量が上がり、反時計方向に回すと音量が下がります。

4 通話します。

- 送信: PTT(送信) スイッチを押しながらマイクに向かって話します(点灯します)。
- 受信: PTT(送信) スイッチを離すと受信待受状態になります(相手が話すと点灯します)。



特定小電力トランシーバー使用における連続通話時間の制限について

- 特定小電力トランシーバーの連続通話時間は、送信・受信合わせて3分間です。
送信中に制限時間の30秒前になると、グループ番号表示に残り時間を表示し、点滅しながらカウントダウンを始めます。(送信中の場合のみ。受信中は通常表示のままとなります。)
10秒前になると「ブツ」と警告音が鳴り、3分経過した時点で「ピーピー」と送信禁止音が鳴り、送信は自動的に停止します。
送信停止2秒後には再通話が可能になります。PTT(送信) スイッチを押して再度通話を再開してください。

基本的な使いかた（つづき）

ご注意！

- 送信と受信は交互に行います。
受信状態のときに PTT（送信）スイッチを押しても「プー」と音が鳴り送信できないことがあります。これは、ほかの電波を受信しているときにはたらく「混信防止機能」によるものです。別のグループが同じチャンネルを使用している場合は、たとえグループ番号が異なり音声が届いていないときでも、受信状態であれば、この機能がはたらきます。

5 終了します。

- 🔑 キーを長押し（約2秒）すると、電源がオフになります。

キーロックのしかた

キーロック設定を「オン」にすると、下表の操作を除く、すべてのキー操作ができません。チャンネルやグループを変えずに長時間でใช้งานになるときなどは、チャンネルやグループ番号がロックされるので誤操作を防げます。

キーロック中でも
操作できるキー

- PTT（送信）スイッチ
- 🔑 キー
- 🔑 MODE キーの長押し（約2秒）
- 送信中の 🔑 キー

➤ キーロック状態で上記以外のキー操作をすると、「ブツ」と警告音が鳴ります。

キーロックを設定／解除するには 🔑 MODE キーを長押し（約2秒）します。
「ピピッ」と音が鳴り、設定／解除されます。

➤ キーロック中は画面に 🔑 が表示されます。

■ 表示設定がオンのとき



■ 表示設定がオフのとき



ご参考

- 表示設定（⇒ 28 ページ）を「オン」に設定すると、キーロック中のチャンネルおよびグループ番号を非表示にすることができます。
- キーロック中に 🔑 キーもロックしたいときは、パワーオフ禁止（⇒ 28 ページ）を「オン」に設定してください。

グループ設定のしかた

グループ番号を設定する

本機はグループ解除および 1 から 38 のグループを設定できます。

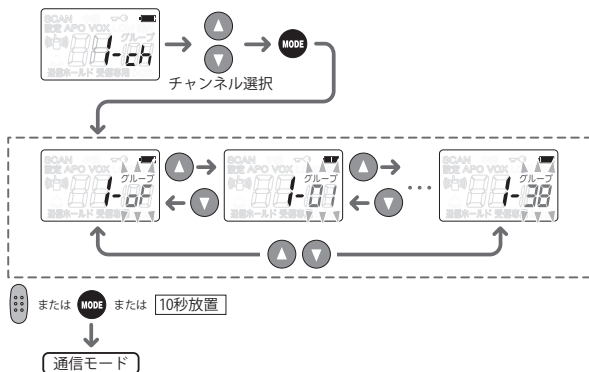
仲間どうし（グループ）でグループ設定をしておく、他の同一チャンネル上のグループとの混信を防げます。

- 1** 通信モード中に **MODE** キーを押し、**▲** / **▼** キーでグループ番号を設定します。

- 2** **MODE** キーを押して通信モードに戻ります。
— または —

PTT（送信）スイッチを押す：通信モードに戻り、送信を開始します。

そのまま 10 秒放置する：「プププ」と音が鳴り、通信モードに戻ります。



各種機能の設定

■ 設定メニューモードに入る

あらかじめ各種機能の設定をしておくと、本機を便利に、また効率的にお使いいただくことができます。

電源オフの状態で、

- 1** **MODE** キーを押しながら **ON** キーを長押し（約 2 秒）すると、設定メニューモードに入ります。

▶ 設定メニューモード中は、画面に **設定** が表示されます。

- 2** **MODE** キーで設定したいメニュー項目を選びます。

- 3** **▲** / **▼** キーで設定値を選びます。

▶ 設定値を選んだ時点で設定が保存されます。

次のメニュー項目に進むときは、**MODE** キーを押します。

- 4** 設定メニューモードを終了するには、
PTT（送信）スイッチを押す：通信モードになります。

— または —

ON キーを長押しする（約 2 秒）：電源オフになります。



メニュー一覧表

電源オフの状態では **MODE** + **電源ボタン** 長押し(約2秒)

bA ビジーアンサー	On	Off	は初期設定値を表します	
AP オートパワーオフ	On	Off		
bS バッテリーセーブ	On	Off		
SL スケルチレベル	Hi (強)	Lo (弱)		
SA モニター	On	Off		
Ld 表示	On (非表示)	Off (表示)		
LP パワーオフ禁止	On	Off		
bl LCDバックライト	On (常時点灯)	5 (キー押下時点灯)	Off (常時消灯)	
bP キートーン	On	Off		
tn テールノイズカット	On	Off		
AU オートチャンネルスキャン	On	Off		
Ph 送信ホールド	On	Off		
Ab 送信ホールド自動復帰	On	Off		
ro 受信専用	On	Off		
Ct コールトーン	01	~	10	(10段階)
vo VOX	On	Off		
LE VOX感度	01 (低)	02	03	04 (高)
dl VOX遅延時間	05	10	20	30
ch チャンネル表示	20 (Aタイプ)	h9 (Bタイプ)	9 (Cタイプ)	

■ 操作モード設定

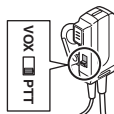
ビジーアンサー

接客中など、他の方と会話中で無線からの呼び掛けに応答できないとき、声で応答する代わりに本機の PTT（送信）スイッチを押し続けることで、呼び掛けの相手に「ピーピーピー」という音で知らせることができます。

▶ ビジーアンサー機能を使うには、別売品の VOX 対応イヤホンマイクが必要です。

■ ビジーアンサー機能を設定する

別売品の VOX 対応イヤホンマイクを接続し、イヤホンマイクのクリップ部付近にある VOX/PTT 切替スイッチを「PTT」にします。



本機側でビジーアンサーの設定を「オン」にします。



■ ビジーアンサー機能を使う

設定完了後、本機の PTT（送信）スイッチを押すと、相手に「ピーピーピー」という音で知らせることができます。

オートパワーオフ

PTT（送信）スイッチを含む、すべてのキー操作が一切されない状態で 2 時間経過すると、自動的に電源がオフになります。

- ▶ 電源オフ1分前になると「ブッ」と警告音が鳴り、**APO** が点滅します。
- ▶ 送信ホールド自動復帰、および VOX での運用中も、キー操作がないため 2 時間で電源がオフになります。



操作モード設定 (つづき)

バッテリーセーブ

3 秒間無操作、無信号状態になると自動的にバッテリーセーブモードになります。
設定を「オン」にすると、消費電流を抑えてバッテリーを長持ちさせることができます。



ご注意!

- ・ オートチャンネルスキャン中は、バッテリーセーブモードにはなりません。

スケルチレベル

電波の受信感度を調整します。

Hi: ある程度強い電波だけを受信します。

(弱い電波を受信しませんので、雑音が入りません。)

Lo: 弱い電波でも受信します。

(ただし「ザー」という雑音が入るなど、聞き取りにくいことがあります。)



モニター設定

相手の音声途切れるなど、電波が弱いときにスピーカーのミュートを一時的に解除し、非常に弱い電波でも受信できるようにします。

▶ 電源をオフにすると、設定は「オフ」(無効)に戻ります。



ご注意!

- ・ 受信音声がない場合は、「ザー」という大きな音が出ることがあります。
ご使用の前に必ず、音量を小さくしてから設定を「オン」にしてください。

操作モード設定 (つづき)

ディスプレイの非表示 (表示設定)

キーロック中のグループおよびチャンネル表示を非表示にすることができます。
非表示設定を有効にするには本機をキーロック状態 (➡ 22 ページ) にしてください。

▶ キーロックのオン / オフ… **MODE** キーを長押し (約 2 秒)



パワーオフ禁止

キーロック中のパワーオフ操作を禁止することができます。
設定を「オン」にすると、キーロックが「オン」のときに **⏻** キーを押しても、電源オフになりません。

▶ キーロックを解除し、**⏻** キーを長押しすると電源オフにできます。



LCD バックライト

ディスプレイのバックライト点灯時間を、常時消灯 (oF) / 5 秒点灯 (5) / 常時点灯 (on) のいずれかに設定できます。



操作モード設定 (つづき)

キートーン

キーを押したときの操作音を鳴らさないように設定できます。



テールノイズカット

グループ番号を設定してグループ通話をするとき、通話相手の送信終了時に発生する雑音をカットすることができます。

- ▶ テールノイズカットを有効にするには、グループ設定 (⇒ 23 ページ) を行い、通話相手となる機器の設定も「オン」にしてください。



オートチャンネルスキャン

グループ番号を設定してグループ通話をするとき、未使用のチャンネルを自動で選択して通話を可能にします。

- ▶ オートチャンネルスキャンを有効にするには、通話相手となる機器の設定も「オン」にしてください。
- ▶ 設定を「オン」にすると、通信モード (受信待受状態) 中のチャンネル表示は "AU" となり、同時に **SCAN** が表示されます。



■ 操作モード設定 (つづき)

■ オートチャンネルスキャンを使う

- ▶ あらかじめグループを設定し、オートチャンネルスキャン設定を「オン」にする必要があります。

呼び出す側で…

1 PTT（送信）スイッチを押し続けます。

空いているチャンネルが見つかったと、スキャンを一時停止します。

- ▶ スキャン中の相手が、一時停止中のチャンネルを発見できるように、PTT（送信）スイッチを押したまま少し長め（2 秒以上）に待ちます。

2 2 秒以上経過したら、相手に呼び掛けます。

呼び掛けが終わったらスイッチを離し、相手はそのチャンネルで応答してくるのを待ちます。

- ▶ 送信を停止してから、10 秒間スキャンの一時停止を継続します。
相手の応答があった後（チャンネル表示中）は、普通に PTT（送信）スイッチを押して話します。（長めに押す必要はありません。）

呼び出される側で…

3 呼び出しがあると が点灯し、チャンネル番号が表示されます。

 が消えたら、PTT（送信）スイッチを押して応答します。

- ▶ 応答は 10 秒以内に行ってください。そのチャンネルで 10 秒以上交信が行われない場合、再びオートチャンネルスキャンが再開します。

オートチャンネルスキャン設定を「オフ」にすると、オートチャンネルスキャンを「オン」にする前のチャンネルで通信モード（受信待受状態）となります。

操作モード設定 (つづき)

送信ホールド

通常 PTT (送信) スイッチを押している間は送信、スイッチを離すと受信待受状態となりますが、送信ホールド設定を「オン」にすると、スイッチを押すたびに送信・受信待受状態が切り換わるように設定できます。

- ▶ 設定を「オン」にすると、通信モード中の画面に **送信ホールド** が表示されます。
- ▶ この機能は、本機の PTT (送信) スイッチのみに有効です。



送信ホールド自動復帰

送信ホールド設定が「オン」の状態で送信タイムアウト (連続送受信が 3 分を超えたとき) をした場合、その 2 秒後に送信を自動復帰できます。



受信専用

本機を受信専用を設定できます。

「受信専用」に設定すると、受信のみ可能となります。PTT (送信) スイッチを押しても送信はできません。

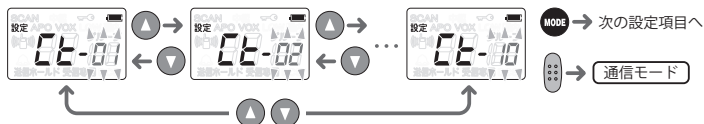
- ▶ 設定を「オン」にすると、通信モード中の画面に **受信専用** が表示されます。



操作モード設定 (つづき)

コールトーン

送信中に  キーを押すとコールトーンを発信します。
コールトーンの音色は 10 種類から選べます。



VOX

VOX 対応イヤホンマイク (別売品) の VOX/PTT 切り替えスイッチを「VOX」にすると、PTT (送信) スイッチを押さなくても、イヤホンマイクのマイクに向かって話すだけで通話ができます。

▶ VOX 機能は本体マイクではお使いになれません。

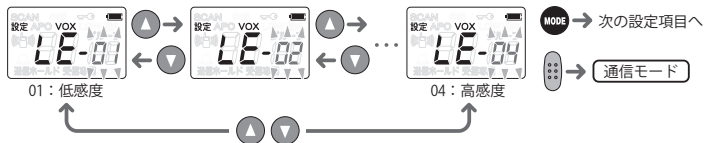
必ず VOX 対応イヤホンマイク (別売品) のマイクに向かって話してください。



VOX 感度

VOX 設定がオンのとき、VOX 対応イヤホンマイク (別売品) のマイク感度を 01 (低感度) ~ 04 (高感度) の間で調整します。

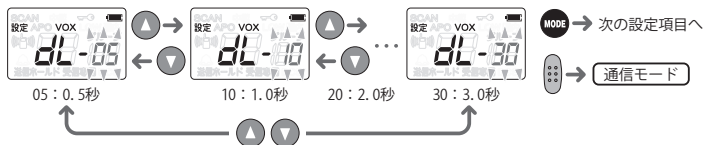
周囲の騒音を感知せず、発声音量を感知するレベルに調整してください。



操作モード設定 (つづき)

VOX 遅延時間

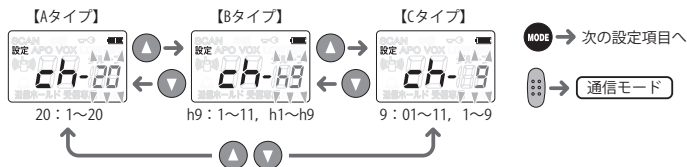
VOX 設定がオンのときの会話終了から送信停止までの時間 (0.5 秒、1 秒、2 秒、3 秒) を設定できます。



チャンネル表示

ディスプレイのチャンネル表示方法を、他社製の機種と合わせることができます。
初期設定の表示方法は A タイプ (1 ~ 20 チャンネル) です。

▶ 通話可能チャンネル (周波数) と表示方式 (⇒ 20 ページ)



設定を初期化する

すべての設定を、初期設定値 (工場出荷時の状態) に戻します。

電源オフの状態ですべてのキーを押したまま、

電源キーを長押し (約2秒) します。

「ピロリ」と音が鳴って電源が入り、以下のように画面が切り換わります。



▶ 初期化完了後は必要に応じ、各種操作モード設定を再度行ってください。

■ お手入れについて

汚れたときは

バッテリーをはずし、柔らかい布で本体を拭いてください。

※ 汚れがひどいときは、水を含ませて硬く絞った布で拭き取ります。

充電端子はいつもきれいに

バッテリー充電端子が汚れると、充電できないことがあります。

汚れたときは、柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

お手入れに使用できないもの

ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、洗剤などは
表面の仕上げをいためますので使用しないでください。

■ バッテリー交換について

十分に充電しても、数分後にバッテリー残量表示が変化する場合は、バッテリーの寿命が考えられますので、新しいバッテリーと交換してください。

お願い

- 必ず指定のバッテリー（別売品／品番：BT-863、仕様：ニッケル水素電池、DC3.6V、1,800mAh）をお使いください。ご注文は、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにお申しつけください。

バッテリー交換のしかた

「バッテリーを取り付ける」（⇒ 15 ページ）をご覧ください。

バッテリーの充電について

「充電する」（⇒ 16 ページ）をご覧ください。



Ni-MH

ご使用後は
リサイクルへ

- 本機のバッテリーはニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な資源です。不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 不要になったバッテリーを一般のゴミとして捨てないでください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。

一般社団法人 JBRC

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>

リサイクル時のお願い

- ・ バッテリーはショートしないように、端子に絶縁テープを貼ってください。
火災・感電の原因になります。
- ・ ビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- ・ バッテリーを分解しないでください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデンダイレクト>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデンダイレクト>ホームページよりお問い合わせください。(☎ 裏表紙をご覧ください。)

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
電源が入らない	バッテリーは十分に充電されていますか？	バッテリーを充電してください。	16
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。	15
充電ランプが点灯しない	本体、またはバッテリーが充電器に確実にセットされていますか？	本体、またはバッテリーを充電器に確実に差し込んでください。	17, 18
	満充電になっている	異常ではありません。	14, 16, 17, 18
スピーカーから音が出ない	音量レベルが小さすぎませんか？	音量を適切なレベルに設定してください。	21
	相手も同じグループに設定されていますか？	同じグループ番号に設定してください。	23
送信ができない	「受信専用」に設定されていませんか？	設定を解除してください。	31
	バッテリーは十分に充電されていますか？	バッテリーを充電してください。	17
	受信中（  が点灯）ではありませんか？	受信しなくなってから（  が消灯）送信してください。	22
送信が停止する	3分以上連続で通信（送受信）していませんか？	一旦通信（送受信）をやめて2秒間待ち、再度送信してください。	21
キーを押しても反応がない	キーロックがオン（  が点灯）になっていませんか？	キーロックをオフにしてください。	22

■ 故障かなと思ったら（つづき）

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
キーを押しても音が鳴らない	「キートーン」設定がオフになっていませんか？	「キートーン」設定をオンにしてください。	29
バッテリーのアイコンが点滅する	バッテリーは十分に充電されていますか？	バッテリーを充電してください。	17
表示がすぐ消える	バッテリーは十分に充電されていますか？	バッテリーを充電してください。	17
表示が出ない	キーロック中の表示設定が「オン」（非表示）になっていませんか？	キーロックを解除し、設定メニューモードで「表示設定」を「オフ」（表示）にしてください。	22, 28
チャンネル番号が点滅する	受信中（  が点灯）に送信していませんか？	受信しなくなってから（  が消灯）送信してください。	22

おもな仕様

本 体		
送受信周波数	422.050 ～ 422.175 MHz (1 ～ 11 ch)	
	422.200 ～ 422.300 MHz (12 ～ 20 ch)	
	12.5 kHz ステップ	
電波型式	F3E	
周波数安定度	± 4ppm	
消費電流	送信時	65 mA 以下
	受信定格出力時	120 mA 以下
	受信待ち受け時	50 mA 以下
	パワーセーブ時 (平均)	約 12 mA
使用温度範囲	- 10℃ ～ + 50℃	
電源電圧	3.24 V ～ 4.95 V (－接地)	
送信出力	10 mW	
低周波出力	70 mW 以上 (3.6 V、16 Ω負荷、10 %歪時)	
受信感度	- 14 dB μ 以下 (12 dB SINAD)	
変調方式	可変リアクタンス周波数変調	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式	
外形寸法 (突起部を除く)	幅 55.0 × 高さ 105.2 × 奥行 26.4 mm	
質量 (重さ)	約 190 g (バッテリーパック [品番: BT-863] を含む、ペルトクリップを除く)	
防水性能	JIS 保護等級4 (防沫形) 相当 (バッテリーカバー、およびイヤホンマイク用端子のゴムキャップ装着時)	

充電器	
使用電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz) 付属 AC アダプター [品番: AD-1131] 入力電圧
充電電圧	DC 9.0 V
充電電流	約 230 mA (LED 点灯時)
	約 60 mA (LED 消灯時)
使用温度範囲	0℃ ～ + 40℃
外形寸法 (突起部を除く)	幅 78.0 × 高さ 47.4 × 奥行 78.0 mm
質量 (重さ)	約 72 g

ニッケル水素バッテリーパック [品番: BT-863]	
定格電圧	3.6 V
定格容量	1800 mAh
使用温度範囲	- 10 ～ + 50℃
充電温度範囲	0 ～ + 40℃

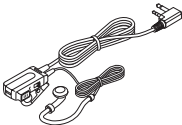
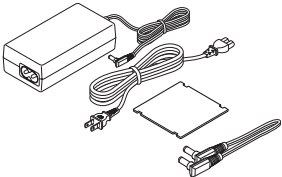
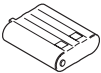
- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 識別表示は本体背面のバッテリー取付部に記載してあります。

別売品について

本機をより便利にお使いいただける別売品をご用意しております。

ご注文は、<ユニデンダイレクト>お客様センターにお申し付けください。

(☞ 裏表紙をご覧ください。)

VOX 対応イヤホンマイク (品番：EM-200) 	本機をハンズフリーでもお使いいただけます。 イヤホン部を回転させることで、左右両方の耳へ装着できます。 ※ イヤホン部を 180 度以上回転させないでください。イヤホンケーブルが切れる場合があります。
連結充電用 AC アダプター (品番：AD-1186) 	付属の充電器を最大 6 台まで連結させ、ひとつの AC アダプターで充電できます。 前後左右どちらの方向にも自由に接続できますので、設置場所に合わせて組み合わせることができます。 ・ 連結コード × 5 ・ 連結パネル × 5 ・ AC アダプタ × 1 ・ 電源コード × 1
ニッケル水素バッテリー (品番：BT-863) 	付属している充電式バッテリーの別売品です。 ※ 必ず弊社指定の充電式バッテリーをお使いください。

クイックガイド

通信モードでのおもな操作

キーロックを設定／解除する

MODE 長押し(約2秒)

キーロック中も 可能なキー操作	• PTT (送信) スイッチ •  キー • MODE キーの長押し(約2秒) • 送信中の  キー
--------------------	--

オートチャンネルスキャン

グループを設定する

オートチャンネルスキャン設定(AU)
を「オン」にする

設定メニューを抜ける、または電源オンで
通信モードに入る

スキャンが始まる
チャンネル表示部に(AU)が表示される

呼び出し側で

(オートチャンネルスキャン設定(AU)が
「オン」の状態)

 (PTT) を押し続ける

チャンネルが表示された後、
約2秒経過したら相手に呼び掛ける

呼び出される側で

 が点灯し、チャンネル番号が
表示される

 が消えたら、
 (PTT) を押して
応答する

設定メニューモードでの操作

メニューモードに入る

電源オフの状態

MODE +  長押し(約2秒)

メニューを選ぶ

MODE を押す

設定値を選ぶ

  を押す

※選んだ設定値がそのまま保存されます。

次のメニューに進む

MODE を押す

メニューモードを終了する

 (PTT) を押す
→ スタンバイモードになります

 長押し(約2秒)
→ 電源を切ります

メニュー一覧表

電源オフの状態では **MODE** +  長押し(約2秒)

bA ビジーアンサー	On	Off	 は 初期設定値 を表します	
AP オートパワーオフ	On	Off		
bS バッテリーセーブ	On	Off		
SL スケルチレベル	Hi (強)	Lo (弱)		
SA モニター	On	Off		
Ld 表示	On (非表示)	Off (表示)		
LP パワーオフ禁止	On	Off		
bl LCDバックライト	On (常時点灯)	5 (キー押下時点灯)	Off (常時消灯)	
bP キートーン	On	Off		
tn テールノイズカット	On	Off		
AU オートチャンネルスキャン	On	Off		
Ph 送信ホールド	On	Off		
Ab 送信ホールド自動復帰	On	Off		
ro 受信専用	On	Off		
Ct コールトーン	01	~	10	(10段階)
vo VOX	On	Off		
LE VOX感度	01 (低)	02	03	04 (高)
dl VOX遅延時間	05	10	20	30
ch チャンネル表示	20 (Aタイプ)	h9 (Bタイプ)	9 (Cタイプ)	

✂ 切り取ってお使いください ✂

<http://www.uniden.jp/>



安全に関するご注意

ご使用前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

- 水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本機はJIS保護等級4（防沫形）相当の防水性能がありますが（バッテリーカバーおよびイヤホンマイク用端子のゴムキャップ装着時）、完全防水ではありません。浴室やシャワー室では使用しないでください。防水性能を維持できず、感電や故障などの原因となることがあります。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。

<http://www.uniden.jp/support/manualdl.html>

愛情点検



長年ご使用の製品の点検を！

熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながる場合があります。

このような
症状は
ありませんか

- ACアダプターのコードが傷んでいる。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 内部に水や異物が入った。
- 正常に動作しなくなった。
- バッテリーが変形している。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜き、必ず<ユニデンダイレクト>お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

- 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。

注意事項

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告なく変更する場合があります。
- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
- お客様から弊社にお電話にてご連絡いただいた場合、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
- ユニデン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
- 電話受付時間は、諸般の事情により予告なく変更する場合があります。電話受付は、土・日・祝日・年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。

● 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の登録商標または商標です。

<ユニデンダイレクト>お客様センター 当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

● 商品のご注文 **0120-012-123**

● サポートダイヤル **0120-20-20-70**

<ユニデンダイレクト>ホームページ

<http://www.uniden-direct.jp/>

SLT001 取扱説明書

発行日：2011年11月 第1版

ユニデン株式会社

〒104-8512 東京都中央区八丁堀 2-12-7

<http://www.uniden.co.jp/>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。
あらかじめ、ご了承ください。本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

©Uniden Corporation

U01UT059ZZZ(0)